

平成 21 年度秋期 IT パスポート試験分析速報

2009,10,18 (株)アイテック 情報技術教育研究部

1. 試験全体講評

新試験制度で 2 回目の実施となる IT パスポート試験について説明します。応募者数は廃止された初級システムアドミニストレータ試験の受験者も加わり 71,856 人と大幅に増えました。

平成 21 年度秋期の試験問題の難易度は平成 21 年度春期と比べて難易度が上がったといえます。IT 用語として目新しい部分、ネットワーク用語、アルゴリズム問題では基本情報技術者試験 (FE) で出題されるような内容に近かった部分があり、それぞれの分野で難易度が上がっています。しかし、難解な問題は少ないため、じっくりと選択肢を読み比べて解答を導き出した受験者も多かったと思われます。

2. 分野別出題割合

出題比率を分野、大分類ごとにまとめると次の表のようになります。分野では、「ストラテジ系」が 35 問、「マネジメント系」が 25 問、「テクノロジー系」が 40 問で、前回の平成 21 年度春期と変わりませんでした。大分類では、前回の平成 21 年度春期と比較すると、「経営戦略」が 4 問、「技術要素」が 2 問、「サービスマネジメント」が 1 問増えました。一方、「企業と法務」が 4 問、「基礎理論」が 2 問、「プロジェクトマネジメント」が 1 問減りました。今後、大分類の問題数が収束するかどうか、動向が注目されます。

分野		大分類	平成 21 年度 春期	平成 21 年度 秋期
ストラテジ系	35 問	企業と法務	17 問	13 問
		経営戦略	11 問	15 問
		システム戦略	7 問	7 問
マネジメント系	25 問	開発技術	8 問	8 問
		プロジェクトマネジメント	10 問	9 問
		サービスマネジメント	7 問	8 問
テクノロジー系	40 問	基礎理論	9 問	7 問
		コンピュータシステム	11 問	11 問
		技術要素	20 問	22 問
合計			100 問	100 問

3. 問題講評

平成 21 年度秋期の試験では、試験範囲がまんべんなく網羅されていることから、試験範囲が広がったような感じを受ける受験者も多かったと思われます。IT パスポート試験は受験層も多岐にわたるところから、今後も最新の市場動向を踏まえた出題となり、その範囲も広がりを見せることが予想されます。最新の IT 用語などだけでなく、日々変化していく IT 市場動向などにも日頃からアンテナを張り、知識を習得していくとよいでしょう。

ストラテジ系

デファクトスタンダード、CSR、データマイニング、ハウジングサービス、キャッシュフロー、CRM、SWOT 分析など、ストラテジ系の定番的な出題では、前回の平成 21 年度春期の IT パスポート試験及び旧初級システムアドミニストレータ試験の内容と変わりはありませんでした。

企業間のアライアンスによるリスクの分類、工場を持たない会社のビジネスモデルとしてのファブレス、E-R 図を使用する整理手法、管理会計の特徴、デジタルディバイド、マーケティングミックスを構成する 4P、アフィリエイトなどの問題は、FE または高度系に出題された問題が改題された内容だったため、難易度が大きく上がったように感じられた受験者も多かったのではないのでしょうか。

この分野の新傾向問題としては、CSR に基づいた活動を答える問 3、アライアンス連携によって軽減するリスクを求める問 5、ハウジングサービスの説明を答える問 6、ファブレスの説明を求める問 8、E-R 図を使用して整理手法を答える問 14、施設や機器を提供する契約締結を求める問 17、IT 利用で経済的・社会的格差を答える問 24、アフィリエイトの説明を求める問 26 などがありませんでした。

マネジメント系

システム開発に関連する内容では、システム利用部門との共有開発工程、開発作業効率の計算、ソフトウェア詳細設計書について、ソフトウェア保守、開発における仕様変更手順、オブジェクト指向設計、テストケースの作成者、外部委託開発の管理方法などが出題されました。以前からよく出題される内容ではありますが、問われているポイントが今までとは違ったため、選択肢を迷ってしまった受講者も多かったのではないのでしょうか。

プロジェクト管理、サービスマネジメント管理の分野では前回と平成 21 年度春期と同等のレベル、内容であったと思われます。

この分野の新傾向問題としては、プロジェクトマネージャが考慮すべき制約条件の組合せを答える問 34、リスクシミュレーション上のプロジェクト予算計算を求める問 36、ファシリティマネジメントの対象範囲を答える問 40、プロジェクト憲章に盛り込むべき内容を求める問 41、開発における仕様変更の手順を答える問 44、安定稼働を妨げる脅威への事前対策を求める問 45 などがありませんでした。

テクノロジー系

スタック，ビットによる符号化（2進数計算），文字列の暗号化，8進数と16進数，期待値の計算，木構造などアルゴリズムやデータ構造として出題された内容は，大きくレベルを上げていたように思います。スタック，符号化などの問題は，文章表現によるアルゴリズム問題となっていたため，問題文を読み終えるまでの時間が解答までにプラスされてしまい，正解までにおおいに時間がかかってしまった受験者も多かったことでしょう。ネットワーク及びセキュリティ分野では，ポート番号，IPアドレスについて，セキュリティ事故，ボットの説明などはITパスポート試験レベルとしては，少し難易度の上がった出題となりました。

この分野の新傾向問題としては，ポート番号の説明を答える問55，SSDの留意点を答える問57，8進数を16進数に変換する問64，IPアドレスについて答える問65，期待値の計算を求める問70，ボットの説明を答える問73，メタデータを構造化して記述するためのXMLベースの文書形式を求める問75，システム使用の通信ケーブル切断時の情報セキュリティマネジメント要素を答える問81などです。

中間形式について

全体をとおして，前回の平成21年度春期とはレベル差のない内容になっていたと思われます。ただし，一つの間問にいろいろな出題形式が散りばめられていた部分は，前回と違っていました。

計算問題や前の問題と関連している問題もあり，時間のかかる部分も多かったように思われます。

中間 A 販売管理業務の業務分析

DFDによる業務分析，出荷処理の引当数の流れ図作成，引当可能数の計算，請求金額の計算が出題されました。

中間 B 販売データの分析

表計算による分析を主にした計算式作成の問題が2問，バブルチャートの見方，ABC分析が出題されました。

中間 C PC関連機器の販売管理業務分析

販売管理データベースを主題とし，データバックアップ容量計算，データベースの主キー，データベースレコードの参照回数の比較，データの正規化が出題されました。

以上